

幼い命を守る

真夏のような5月が終わりました。初めて経験する10連休も、子ども達は大きな事故に遭うことなく過ごすことができました。連休明けの6日は、「子ども達は笑顔で登園して来るのか」と心配していましたが心配無用でした。たっぴりと休めたからでしょうか、笑顔で登園できました。

さて5月には、滋賀県大津市で幼稚園児が横断歩道横の歩道で待っている所に自動車が突っ込み、そこにいた園児の命を奪い、たくさんの負傷者を出す悲惨な事故がありました。また、神奈川県川崎市では、スクールバスを待っていた小学生を刃物を持った男が襲い、小学生と近くにいた大人が尊い命を奪われました。相次いで、抵抗できない幼児や小学生の命が奪われる事故や事件が起こりました。毎日ハンドルを握っている私も、自分の運転を見直す機会にしました。子どもの命を守ることができる地域社会を創るために活動しようと小さな決意をしました。今更ながら、伊勢丘学区の地域の方には子どもたちに常に優しい眼差しをいただいていることに感謝してところです。

次に、5月の子どもたちの活動をご紹介します。

5月22日(水曜日) バトミントン メキシコ選手団をお迎えしました。

伊勢丘公民館へバトミントンのメキシコ選手団がやって来ると聞いて、お迎えに行きました。選手に会う前に、メキシコの民族衣装を着たローちゃんに会いました。子ども達はこの時がこの日一番喜んでいましたようです。「ビエン ベニードス(ようこそ)」と、大きな声で言えるように練習していると、メキシコ選手がバスで公民館へやって来ました。選手たちは、バスから降りるとすぐに、園児のいるところに近づいてきました。緊張した表情で、無言で握手する子や笑顔で「オーラ」とあいさつする子がいました。練習していた「ビエン ベニードス」も練習よりやや小さい声になりましたが、伝えることができました。



5月27日(月曜日) カレーパーティーをしました。

給食のないこの日は、園児は白いご飯だけを持ってきました。カレーを製造・販売している会社からカレーのルーを毎年たくさんいただきます。幼稚園にある畑では年長組が大きな玉ねぎを収穫しました。年長組の子ども達は、たまねぎや人参、じゃがいもを切ります。包丁を持っていない手は猫の手にするように先生に教えてもらおうと、切るとき「にゃー」と言いながら野菜を切る子もいました。年長組の頑張りでおいしいカレーを食べることができました。

